

## 研修センターの運営



### 研修参加者にとっての“もうひとつの我が家”

HIDAの研修センターは、東京(足立区)、関西(大阪市住吉区)の2カ所にあり、研修施設であると同時に、遠い母国を離れて研修に参加する研修生が生活する宿泊施設でもあります。慣れない国(日本)で暮らす研修生にとって、宗教や食事、生活習慣等の違いは大きな負担となりますが、これらの負担を軽減して彼らが快適に過ごせるよう、HIDAの研修センターはもうひとつの我が家"Home Away From Home"としての役割を担っています。

例えば、食堂ではベジタリアンやイスラム教徒に配慮したメニューが用意されているほか、日替わりで各国のエスニックフード等も用意されています。また、フロントを置いて休日・夜間を含め研修生からの相談や緊急事態に24時間体制で対応しているほか、定期的に医療相談を実施する等により研修生の生活を支えています。



客室



教室



食堂

### 研修参加者の福利厚生行事

さまざまな国籍の研修参加者が生活する研修センターは、貴重な国際交流の場であり、日々彼らは交流を深めています。研修センターでは研修生のための福利厚生行事を数多く行っており、中でも年末年始の餅つきや初詣、盆踊り、節句・節分等の季節に関するさまざまな行事を通じて、日本の文化や伝統に対して理解を深める機会を提供しています。



鎌倉ツアー

### 地域社会との異文化交流

盆踊り等の福利厚生行事を地元の町内会やボランティアの方々と共に実施する等、地域社会との交流も活発に行っており、このことは研修生が日本を理解するのに役立つだけでなく、地域の方々から彼らを知る貴重な機会にもなっています。

2014年度インドネシア看護師・介護福祉士候補者は近隣の小学校を訪問し、校内清掃のボランティアを実施しました。日本の子供たちにとっても、海外に対する興味や国際的な視野をもってもらうことで国際理解を促進する機会にもなっています。



小学校を訪問するインドネシア看護師・介護福祉士候補者



足立区中学校の茶道部合同発表会に参加